

2024年度の小中学校不登校を在籍者数と学校種別に検証

対象：文部科学省・e-Stat 令和6年度調査

公開日：2026-08-29

結論

人数と在籍者当たり割合を併記し、小学校と中学校を分けて比較します。学年別率と原因の検証には追加データが必要です。

353,970人

小中学校の不登校児童生徒

3.86%

在籍者に対する割合

97.9%

純増に占める小学校

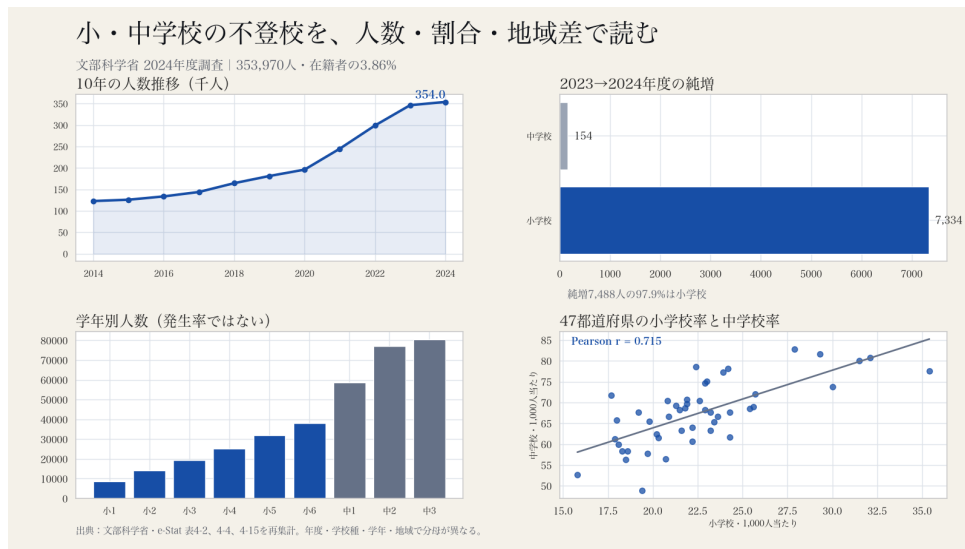


図 不登校児童生徒数の推移と内訳。年度、学校種、学年、都道府県を同じ分母として扱いません。

分かったこと

- 小中合計3.86%：353,970人を在籍9,180,969人で割ると3.86%、1,000人当たり38.6人です。
- 純増の97.9%が小学校：2023年度から小学校は7,334人増、中学校は154人増でした。
- 2014年度比2.88倍：在籍者は9.29%減る一方、不登校児童生徒数は188.0%増えました。

限界

- 学年別表だけでは学年ごとの発生率を計算できません。
- 地域相関から家庭、学校、感染症などの原因は特定できません。
- 2020年度から2022年度は欠席日数の数え方について注記が必要です。

次のデータ

学年別在籍者数、欠席日数、相談接続、学習継続を同じ学校と年度で記録します。

出典

文部科学省 令和6年度調査結果・2026年1月16日修正版／e-Stat 表4-2 不登校児童生徒数の推移／e-Stat 表4-4 学年別不登校児童生徒数